



小山正武

こやま まさたけ

かがやく
都市・
横浜へ

政策レポート VOL.

2

8月3日は横浜市長選挙です。

変えよう!!

横浜市民ファーストで市民の命をまもる!!

防災

政策3本柱

子育て

経済

なぜ、今、体育館の建替えなのか…………

それは「**市民の命をまもる**」ために必要だからです。

皆様は、いざというときの避難場所は覚えていらっしゃるでしょうか？

わからないという方でも、地域の小学校・中学校はわかるはずです。

そこを防災拠点とする。いざというときどこへいこうか…………ではなくまずそこへ行く。

体育館を防災拠点として建替え整備し、厨房設備を備えて学校給食設備とする。

日頃は地域コミュニティ拠点として、学童や市民食堂に活用できるようにする。

整備事業は市内企業への発注として、市民も企業も元気にします。

「横浜にまさるあらめや」を取り戻す!! そして「変えよう!! 横浜を!!」

8月3日は**横浜市長選挙**です。ぜひ関心をお寄せください。

【プロフィール】

小山正武プロフィール

1949 年生まれ

1977 年 業務用野菜販売つま正（現株式会社つま正）創業

以降、横浜市場水産・中央市場物産・ガトーよこはま・こまつな保育園などの事業を展開するつま正グループを率いる

2011 年 ライオンズクラブ国際協会 330 - B 地区第 47 代ガバナー

現 職

・（一社）新日本調理師会会長

・神奈川・港北間税会会長

・横浜中央市場通り商店街会長

・日本赤十字社代議員

・東京国税局間税会連合会常務理事

・横浜商工会議所役員待遇者

・日本赤十字社神奈川県支部評議員



こんな体育館に します (ハード面)

- 地上3階建て・RC造による堅固な建物に。
- 調理施設を整備、給食や市民食堂、避難時と炊き出しに。
- シャワー室を完備、避難時も衛生的に。
- 開口部にはシャッターを設け、国際有事にはシェルター機能を有するものに。
- 講堂（運動場）は上層階とし、避難所機能を。



こんな体育館に します (ソフト面)

- 整備した厨房設備で自校方式の給食を実現。
- 学童機能を持たせ、子育て世代を応援。
- 土日は老若男女が集う「市民食堂」に。
- 有事の際は避難所として市民の命をまもります。



建替えに よる経済効果を 市内企業に

- 体育館の建替えや給食事業に関わる業者は市内に本拠を構える企業に限定します。
- 木造密集地域の中学校を優先とし、小中学校約480校全校の体育館建て替えを10年目途に完了します。
- 主要財源として市民および市内企業に限定した市民債（10年2%・20年3%）を発行。

その他の政策はホームページ・SNSをご覧ください。

ご意見お待ちいたしております。



【お問い合わせ】

小山正武政経懇話会事務局

横浜市神奈川区栄町88-1 つま正ビル4階4号

TEL 045-755-7220 FAX 045-755-7221

Email: koyama.m.office@gmail.com

【発行】

横浜市民ファーストの会